

町の日記念式典



厳粛に行われた式典



式辞を述べる松田町長

本町は、平成の大合併で県内第1号として発足し、この11月1日で満2歳となる誕生日を迎えました。

町では、美郷町が誕生した11月1日を「町の日」と制定し、それを記念して11月3日、仙南公民館で町の日記念式典を開きました。

式典には、町民の皆さん約400人が来場。はじめに松田町長が「この2年間は町としての基礎的な体制を整えながら、町づくりの取り組みがしっかりとレールを走り出すように力を注いだ、助走期間として位置づけられるものと思います。これから

が助走を経ての力の出しどころとなり、旧町村で実施・計画してきた各般の事業を早期に仕上げ、事業効果を確認しながら美郷町総合計画に基づく新たな取り組みを展開し、よき美郷づくりを加速して参ります」と式辞を述べ、続いて、町議会を代表して伊藤議長によるあいさつが行われました。

町功労者18人を表彰

町では、町政の発展に寄与された方、各分野においてその活動が高く評価された方、町民の模範となる行為のあった方を表彰し、その功績を広く町民の方々に紹介することにより、一層の町の振興・発展を図ることを目的として美郷町表彰規則を制定しました。

このたびの記念式典では、長年にわたり町政の発展に寄与された18人(左記)の方々を表彰し、松田町長からそれぞれ表彰状が手渡されました。

これを受け、受賞者を代表して煙山多三郎さん(善知鳥)が「議会人として33年並びに農業委員として23年、町の発展に尽くしてきたことにより、表彰の

栄に浴することができたのも、地域の皆様のおかげです」と謝辞を述べました。

400人が町民歌を大合唱

町民のこころのよりどころとして、ことし2月に制定された町民歌・イメージソングが、雁の里コーラス、せせらぎコーラス、せんはた松並コーラス、六郷コーラスサークルの皆さんの美しい歌声によって披露されました。

両歌を披露した皆さんは、その後、観客席に降り立ち、来場者とともにあらためて町民歌を合唱し、美郷町の2歳の誕生日を祝いました。



来場者全員で町民歌を合唱

「子どもの教育と大人の責任」私の体験的教育論

学習院大学教授(前東京大学総長) 佐々木 毅さん

本町出身で学習院大学教授(前東京大学総長)の佐々木毅さんを講師にお迎えして「子どもの教育と大人の責任」私の体験的教育論」と題して記念講演が行われました。

講演要旨

政府が教育再生会議を設置し、教育のあり方を議論しているが、そもそも教育の問題はいくら議論しても議論し



佐々木毅教授による記念講演

尽くせない大変難しいことであり、それは工場で作るように人間を教育するようにはいかないからです。人間というものは教えても覚えられない、勉強しても忘れてしまう。受験を例にとってみると、忘れるから勉強する意味がないと言うが、別の角度から見ると努力というものを体で覚えさせる訓練だと思ふ。社会に出ればどこにいても評価を得るにはそれなりに努力が必要であり、子どもが勉強するということは努力をさせること、「がんばり」を覚えさせるといふことだと思ふ。努力するといふのも慣れで、努力をしてみて自分の努力の成果を推し量る。人生とは最終的にそういう面があると考へます。努力は他人が評価するので、報われることもあるが、報われないこともある。

私は大学で教えてきた者なので「終わりよければすべてよし」という考え方をするようにしている。最後に学校を卒業するときに学生が良い人材になつていればそれでいい。

最近の大人は学校を出てきた人間を評価する能力が低下している。自分たちがはつきりできないためにその責任を前の段階である学校に求める。大人

たちが人間をどう見たらいいのか分からないから、その次の世代もどうしたらいいのか分からない。それは大人の責任の一番重い部分であると思ひます。教育というものは最終的には、それぞれの人格に深く根ざした真剣勝負です。浮いたような議論をして教育を論じたように見せるのは迷惑なこと、問題をそらすために行つていようと思ふ。そして次の世代もそれを真似るので、そういったことが繰り返される。

教育はお金がかかるものであり、わが国では教育にかかるお金について、誰が責任を負うのかということがあまいです。教育にかかるお金について親子の間でルール化することも大切なことで、子どもがこれから行おうとしていることについて、いくらお金が必要なのかを理解させ、自分が行うことに責任を持たせる。お金をきっちり扱えない人間関係は健全な関係ではないと思ふ。自分を支援してくれた人に対して、どのようにして報いるのか、お金を通して考えることも大切です。

勉強で科目を学ぶ、それは知識を学ぶといふことだが、しかし、その知識を自分のものにするという過程の中にはないか。社会的に偉くならなくても、それぞれの分野で余人をもって替へがたい人材になつてもらえれば、それは幸せなこと。そうすれば人生をこころ安らかに過ごすことができる。

美郷町功労者表彰

【特別功労者表彰】

・煙山多二郎さん(善知鳥) 議会議員33年 農業委員23年

・佐藤 倉一さん(南町) 議会議員32年

・半田 秀雄さん(鶴水) 議会議員28年

・後松 一成さん(本堂東部) 議会議員27年

・田口 繁男さん(大畑) 議会議員25年

・伊藤 光明さん(耳取) 議会議員24年

・泉谷理毅男さん(今泉) 議会議員24年

・亀山 精司さん(荒町) 農業委員36年

・永井 久雄さん(下新町) 議会議員14年 農業委員27年

【功労者表彰】

・佐々木順吉さん(四天地) 議会議員18年

・大久保伸一さん(下畑屋) 議会議員17年

・高橋 隆治さん(下野際) 議会議員16年

・佐藤 時夫さん(上深井西) 議会議員16年

・高橋 久男さん(本館) 議会議員14年

・森元 利漠さん(安城寺上) 議会議員13年

・照井 賢市さん(元村) 農業委員15年

・藤井 孝造さん(細田) 農業委員15年

・最上 宗一さん(本道町) 農業委員15年